

賛助会員

有限会社浜野顕微鏡 (〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-18)

株式会社ヤクルト本社研究所 (〒186-8650 東京都国立市谷保 1796)

神協産業株式会社 (〒742-1502 山口県熊毛郡田布施町波野 962-1)

理研食品株式会社 (〒985-8540 宮城県多賀城市宮内 2-5-60)

マイクロアルジェコーポレーション株式会社 (〒500-8148 岐阜県岐阜市曙町 4-15)

共和コンクリート工業株式会社 (〒060-0808 北海道札幌市北区北 8 条西 3 丁目 28 札幌エルプラザ 11 階)

(株) 環境総合テクノス (〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町 1-3-5)

(株) 日本港湾コンサルタント (〒140-0031 東京都品川区西五反田 8 丁目 3 番 6 号)

ご投稿をお待ちしています

「藻類」は皆様の原稿で成り立っている雑誌です。原著論文のみならず、総説やその他の報文（記事等）のご投稿もお待ちしております。ご投稿に際しましては、次頁の投稿案内をご覧ください。（編）

編集後記

今回の表紙は、若手？ノリ研究の第一人者の阿部先生にお願いました。村瀬先生と一緒に水産大学の藻場生態系保全研究室で、藻場をつくる海藻や海草および水産的・生物資源的に有用な藻類、海洋植物などを対象に教育・研究・調査を実施されています (<http://www2.fish-u.ac.jp/LAB/gaiyou.html>)。ちなみにウチの研究室のHPだと「水域生態系の一次生産者（アサクサノリ、マリモ、カサノリ、海産

被子植物、海産大型藻類など）に注目し、種・種特性の把握、種内個体群の遺伝的特性や生理・生態学的特徴の理解、環境適応に関する分子進化の解明、絶滅危惧種の保全、個体群の健全性診断、・・・着手しています (<http://www-p.sci.ocha.ac.jp/bio-shimada-lab/>)」とあり、そうなんです、非常に興味が似ています^^。まだ共同研究はしていませんが、将来、一緒に仕事ができるといいですね。

（畠田 智）

表紙

紅藻カイガラアマノリ

作成者

阿部真比古（水産大学校）

作成者より

山口県に自生するカイガラアマノリです。これまで夜間干潮時にサンプリングを行っており、干出した写真ばかりでしたので、1月に潜って水中写真を撮影してみました。濁りがあったために撮影は勘頼りでしたが、冷たい水中でノリの生き様を感じる時間でした。